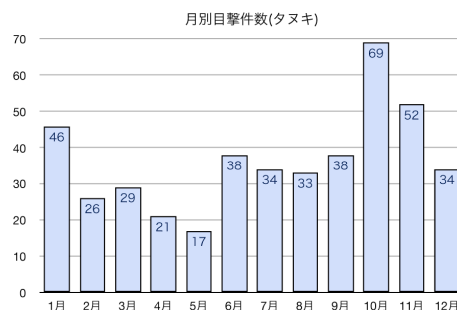
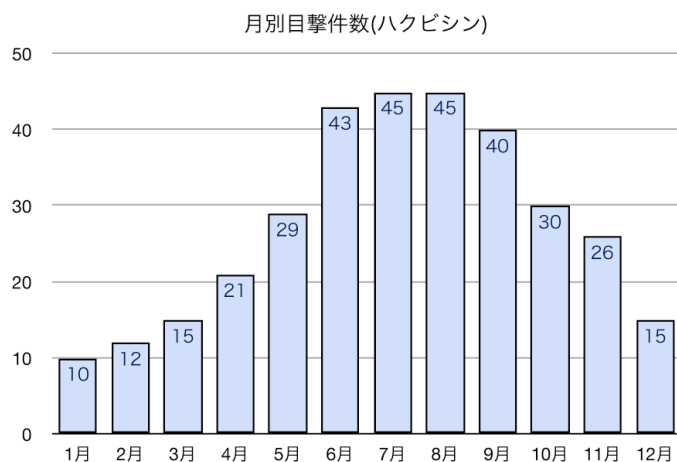


ハクビシン4月のミステリー

4月後半に目撃情報が急増



ハクビシンの月別目撃件数のグラフ(2008～2010年の集計)。タヌキのグラフも上に掲載した。両者のグラフは明らかに異なっている。

先月号ではタヌキの月別の目撃件数からその生態を解き明かしていましたが、今回はハクビシンの場合を見てみましょう。上のグラフのように、タヌキとは明らかに違った傾向になっています。

4月後半に何があるのか？

タヌキの目撃は冬～春に少なく、秋に多くなっていますが、ハクビシンでは単純に夏に多く、冬に少なくなっています。これだけでもタヌキとハクビシンでは生態が異なる動物であることがはっきりとわかります。

特に注目したいのは、タヌキは出産の5月ごろに目撃が最も少なくなるのに対して、ハクビシンは出産の時期が読み取れないことです。目撃が最も少ない冬に出産しているのでしょうか？ これまでの目撃情報にはハクビシンが冬に出産することを示すものはありません。冬に目撃が少ないのは、寒くて活動が不活発になっているからではないかと考えた

方が正解のように思えます。ハクビシンの出産は、「年に2回」とする説や「出産時期は春から秋にかけて幅広い」という説もあり、はっきりしたことはわかりません。グラフでもはっきりと読み取れないのは出産時期が不特定であることを示しているのかもしれませんが。

もうひとつ、グラフからは読み取りにくいことですが、「4月後半になると急に目撃情報が増える」という現象があります。これは2009年、2010年で確認された現象です(それ以前は年間情報数が少なく、はっきりとわからなかった)。これはどう説明すればいいのでしょうか。「暖かくなったので活動が活発になった」という説明はもっともらしいのですが、4月後半というとき最高気温も20℃を超える日があるような、かなり暖かい季節です。なぜ3月ではダメなのか、その理由が説明できません。冬も少ないながら目撃されているので、冬眠をしているわけではないでしょう。4月後半にいったい何が起きているのでしょ

う？ ハクビシンはまだ謎が多い動物です。

統計情報も重要な意味がある

目撃情報の収集は、私自身がタヌキやハクビシンを直に調査・観察するわけではありません。しかし情報数が数百件の規模になると、今回紹介したような月別の変化など統計的に意味のある情報が浮かび上がってきます。これも目撃情報を連絡してくださった皆様のおかげです。それぞれの目撃情報はささいなものであっても、それを集積すれば新しい発見もできるのです。皆様の目撃情報は調査研究に大きく貢献しているのです。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ・ハクビシン情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>